

# 第3章

## 自転車競技ロードレース



2021.7.25 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース(女子)

写真提供:共同通信社

東京2020大会で多摩市内で唯一実施された競技はオリンピック自転車競技ロードレースです。私たちが普段生活している公道がオリンピックレースのコースになりました。

「チケットが無くても見られる数少ない競技のひとつであり、市内11.8kmのどこからでも無料で見られます！ぜひ熱戦を間近で体感してください！」——多摩市では、市内の一部がオリンピックコースに決定してから、ずっとそう呼びかけてきましたが、レース当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、沿道での観戦は自粛をお願いすることになりました。

自転車競技ロードレースは2004年のアテネ大会以降、オリンピック開会式の翌日に男子レース、翌々日に女子レースが実施されています。競技映像を通してオリンピックの開催地の風景が世界中に発信されることから、開催国の様子を紹介する意味で大会の最初に実施されているのだそうです。自転車競技ロードレースは日本ではテレビ放映はされず、インターネット配信のみでしたが、自転車ロードレースの人気の高い世界の国々では、テレビで放映されました。多摩市の街並みは世界中の人々にどのように映ったのでしょうか。

# 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースを巡る動き

国、東京都、組織委員会等の動き	年月日	多摩市の取組等
招致委員会が国際オリンピック委員会に立候補ファイルを提出	2013 1.7	
国際オリンピック委員会総会で2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定	9.7	
自転車競技ロードレースコース公表	2018 8.9	
	2019 1.29	市内6大学と東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組に関する連携協定締結 多摩市オリンピック・パラリンピック大学連携協議会設置
	2.8	コースサポーター募集開始
	4.5-6	東京2020テストイベント「READY STEADY TOKYO-自転車競技(ロード)-」地域説明会開催
	4.20-7.15	パルテノン多摩歴史ミュージアム特別展「刀鍛冶と文明開化」開催
	7.11	8市連携事業「8市合同記者会見」
東京2020テストイベント「READY STEADY TOKYO-自転車競技(ロード)-」開催	7.21	多摩大学にて6大学連携事業「自転車競技ロードレース応援イベント～東京2020開催まであと1年!～」開催
	11.23	桜美林大学多摩アカデミーヒルズにて6大学連携事業「東京2020オリンピックに向けた自転車競技ロードレース応援イベント in TAMA」開催
	2020 1.25	8市連携事業「TAMA サイクルフェスティバル」開催
IOCと組織委が東京2020大会の延期を発表	3.24	
延期後の東京2020大会の日程を公表	3.30	
↑ 東京都を含む7都府県に緊急事態宣言①を発令	4.7	
① 緊急事態宣言①の対象を全国に拡大	4.16	
↓ 緊急事態宣言①を残る首都圏1都3県と北海道で解除、およそ1ヶ月半ぶりに全国で解除	5.25	
	7.1-31	8市連携事業 電車内広告掲出
↑ 東京都を含む1都3県に緊急事態宣言②を発令	2021 1.8	
② 組織委員会、東京都、国、IOC、IPCの五者協議開催 海外から来日する観客の観戦は3月25日までに、会場における観客数上限は4月中旬に判断	3.3	
↓ 1都3県の緊急事態宣言②を解除	3.21	
↑ 東京23区および6市(八王子市、立川市、武蔵野市、府中市、調布市、町田市)にまん延防止等重点措置を適用(～5月11日)	4.12	
↓ 東京都を含む4都府県に緊急事態宣言③を発令	4.24、27	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース地域説明会開催
	4.25	
	5.8	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース事前学習プログラム開催
	5.19	コースサポーターリーダー説明会開催
	6.12-13	コースサポーター活動説明会開催
③ 緊急事態宣言③を9都道府県で解除 うち東京都を含む7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行(6月21日～7月11日)	6.20	
	6.21-7.18	8市連携事業「東京8市Smile Road project」開催
	6.22	都内沿道8市長が組織委員会に要望書を提出
	6.24	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会コミュニティライブサイト in TAMAの開催中止を決定
↑ 東京都に緊急事態宣言④を発令、沖縄県は5月23日から発令されている宣言をさらに延長	7.12	
↓ 東京2020オリンピック競技大会開幕	7.23	オリンピック自転車競技ロードレース最終ミーティング開催
↓ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース(男子)開催	7.24	
↓ 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース(女子)開催	7.25	
④ 緊急事態宣言④の対象地域を8月2日から4府県、8月20日から7府県、8月27日から6道県追加、最大19都道府県に拡大	8.2	
↓ 東京2020オリンピック競技大会閉幕	8.8	
↑ 東京都を含む19都道府県の緊急事態宣言④と8県のまん延防止等重点措置が解除 東京都では新たにリバウンド防止措置期間を設定(10月1日～24日)	9.30	

## 【東京都における緊急事態宣言及びまん延防止措置の期間一覧】

- 第1回緊急事態宣言 2020.4.7 - 5.25
- 第2回緊急事態宣言 2021.1.8 - 3.21
- まん延防止等重点措置 2021.4.12 - 4.24
- 第3回緊急事態宣言 2021.4.25 - 6.20
- まん延防止等重点措置 2021.6.21 - 7.11
- 第4回緊急事態宣言 2021.7.12 - 9.30

←→ 緊急事態宣言期間

←→ まん延防止等重点措置期間

## コース決定までの経緯

週末はもちろん、平日も多くの都内近郊のスポーツサイクリストが訪れ、練習をしている南多摩尾根幹線道路を擁する多摩市は、東京2020大会において自転車競技ロードレースのコースが市内を通るよう東京都や組織委員会等の関係者に対し、要望書や提案書を提出するなどして、強く働きかけを行いました。

2018(平成30)年8月9日、組織委員会がコース決定を公表、多摩市は11.8kmと都内最長のコースとなりました。



阿部市長が塩見東京都オリンピック・パラリンピック準備局長へ要望書を提出

### 東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコース決定までの動き

年	月日	項目	実施状況
2013年	1月7日	立候補ファイル提出	招致委員会が国際オリンピック委員会に立候補ファイルを提出 立候補ファイルでは、皇居外苑をスタートし、多摩地域を周回したのちに武蔵野の森公園をゴールとするコース案で、多摩市内も通るコース設定となっていた。
	9月7日	2020大会の開催都市が東京に決定	国際オリンピック委員会総会で2020年オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定
2015年	12月	コース承認	組織委員会が提案した皇居外苑を発着点とし、都内を巡るコース案が国際オリンピック委員会理事会にて承認される。
2017年	5月17日	コース変更案	国際自転車競技連合(UCI)から組織委員会に対し、武蔵野の森公園をスタートし、富士スピードウェイをゴールとする案が要望される。
	5月24日	稲城市長が要望書を提出	稲城市長が東京都知事及び組織委員会会長あてに市内を通るコース設定を要望
	6月8日	多摩市議会が意見書と要望書を提出	多摩市議会が東京都知事及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会担当大臣あてに立候補ファイル等に基づくコース設定を要望する「意見書」を、組織委員会会長及び公益財団法人日本自転車競技連盟会長あてに「要望書」を提出
	6月15日	多摩市長が要望書を提出	多摩市長が東京都知事、組織委員会会長及び公益財団法人日本自転車競技連盟会長あてに立候補ファイル時のコースを基本に市内を通るコース設定を要望
	6月26日	八王子市長・日野市長・立川市長・国立市長・府中市市長・相模原市長が合同で要望書を提出	八王子市長・日野市長・立川市長・国立市長・府中市市長・相模原市長が東京都知事と組織委員会会長あてに1964年東京オリンピックのコースである甲州街道や高尾街道を経由したコース設定を要望
2018年	10月25日	多摩市長と稲城市長が連名で提案書を提出	多摩市長と稲城市長が東京都副知事へ、立候補ファイル時のおり、多摩市及び稲城市を通るコース設定を強く希望するとともに、自転車競技ロードレースの実施に向けた両市の取組について「提案書」を提出
	8月9日	コース公表 都内コース沿道8市で共同声明を発表	組織委員会がコース決定を公表 多摩市は11.8kmと都内最長のコースとなった。 多摩地域8市(府中市、調布市、三鷹市、小金井市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市)の市長が共同で連携した取組を進めていくことを表明



阿部市長と高橋稲城市長が東京都の猪熊副知事へ提案書を提出



コース周知のため、コース上にかかる歩道橋やコース沿いの柵(4ヶ所)に横断幕を掲出しました



コース決定を知らせる懸垂幕(市役所本庁舎)

## コース

東京2020大会オリンピック自転車競技ロードレースのコースは、武蔵野の森公園をスタートし、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県内を通り、富士スピードウェイをゴールとするワンウェイコースで、コース総距離は男子約244km、女子約147kmとなりました。日本を象徴する富士山を望みながらの起伏の激しいコースは、獲得標高(スタートからゴールまでの上った高さの合計)が男子約4,865m、女子約2,692mとオリンピック史上過去最高となる難易度の高いコースです。

4都県を貫き、しかも都市部を通るこのレースを成功させるためには、さまざまな関係者との複雑な調整が必要となります。しかし、このレースが成功すれば、今後の自転車競技ロードレースのコース設定においてモデルケースになることから、多くの関係者がこの難題に挑むこととなりました。

その中心となった自転車競技チームは、組織委員会、コース沿道自治体、道路管理者、警察・消防等関係団体で構成され、安全なレースの実現のため、細部の協議・検討を重ねました。

### 通過自治体(1都3県1政令指定都市14市町村)

東京都:府中市、調布市、三鷹市、小金井市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市

神奈川県:相模原市、山北町

山梨県:道志村、山中湖村

静岡県:御殿場市、裾野市、小山町



スタート後10kmはタイムに含まれないパレード走行と呼ばれる区間で、正式なスタート(オフィシャルスタート)地点は多摩川の是政橋付近になります。

多摩市内は、稲城市から南多摩尾根幹線道路(多摩東公園～聖ヶ丘4丁目)、聖ヶ丘学園通り、ひじり坂、馬引沢北通り、都道18号府中・町田線(多摩馬引沢～多摩東公園)、南多摩尾根幹線道路(多摩東公園～南豊ヶ丘フィールド前)、上之根大通り、青木葉通り、多摩中央公園通り、都道158号小山・乞田線(多摩南部地域病院～島田療育センター入口)、多摩ニュータウン通りを通過して八王子市へ向かうコースで、その距離は都内最長11.8kmです。

### 男子コース(全域)



### 女子コース(全域)



### 男子/女子コース(都内)

#### ロードレース(男子/女子)コース 武蔵野の森公園周辺



# READY STEADY TOKYO -自転車競技(ロード)

〈2019.7.21〉



都内で唯一2回車列が通る多摩東公園交差点(2回目)から南多摩尾根幹線道路へ入ります



多摩馬引沢交差点 交差点から先は逆走区間になります



聖ヶ丘一丁目交差点

東京2020大会まであと1年と迫った2019(令和元)年7月21日、テストイベントとして「READY STEADY TOKYO -自転車競技(ロード)」が開催されました。テストイベントは男子レースのみで、東京2020大会と同じコース(富士山麓方面ルートを除く。)を使い、16の国・地域から96名の選手が参加しました。

真夏の実施であることから、猛暑が心配されていましたが、当日は曇り空でそれほど気温は上がりませんでした。多くの市民が沿道に駆けつけ、世界のトップレーサーたちの走りを観戦しました。

このテストイベントを経て、道路交通規制の周知活動やコース沿道のスタッフ体制など、本番に向け解決しなければならない課題も見つかりました。



聖ヶ丘二丁目交差点

稲城市から



エコプラザ多摩前



青木葉交差点付近



多摩センター駅付近



	武蔵野の森公園 スタート	先頭選手通過時間 多摩東公園1回目	先頭選手通過時間 島田療育センター 入口
7月21日 (男子)	12:00	12:31	12:46

八王子市へ



多摩郵便局付近

# 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース

〈2021.7.24-25〉

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により東京2020大会は1年延期になりましたが、2021年になっても新型コロナウイルス感染症は収束せず、日本国内では大会の中止、再延期論が議論されていました。

国際オリンピック委員会 (IOC)、国際パラリンピック委員会 (IPC)、東京都、東京2020組織委員会、日本政府の五者は2021 (令和3)年3月20日、東京2020大会における海外からの一般観客の受け入れは断念するという事で合意。結論を、IOCとIPCに報告しました。

近代オリンピックが延期されたのは初めてで、海外の一般観客を受け入れないのも初めての事です。

国は、新型コロナウイルスの感染者が増加したことから、7月8日に東京都等に対し7月12日から8月22日まで緊急事態宣言を発出することを決定し、この決定を受け、IOC、IPC、東京都、東京2020組織委員会、日本政府の五者は、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県を無観客とすることを決定しました。

自転車競技ロードレースについても、スタート会場の武蔵野の森公園を無観客、ゴールの富士スピードウェイは首都圏に比べ感染状況が深刻でない静岡県であることから、観客上限を1万人 (定員2万2千人) とし、スタートとゴール会場を除く公道は沿道での観戦の自粛をお願いすることになりました。



2021.7.25 女子レース 馬引沢第三公園交差点付近

写真提供:共同通信社



2021.7.24 男子レース 馬引沢第三公園交差点付近



2021.7.25 女子レース 多摩給食センター前付近 写真提供:共同通信社

沿道での観戦は自粛をお願いすることになりましたが、レース自体は予定どおり開催されました。男子は57の国・地域から128名の選手が、女子は40の国・地域から67名の選手が出場し、多摩市内を駆け抜けました。



## 東京2020オリンピック競技大会自転車競技ロードレースの沿道8市長が組織委員会に要望書を提出〈2021.6.22〉

2021(令和3)年6月22日、オリンピック自転車競技ロードレースのコースの都内沿道8市を代表し、多摩市長から市長連名による要望書を組織委員会に提出しました。

自転車競技ロードレースは国内ではテレビ放映もインターネット中継もされない予定だったため、多摩市では、コミュニティライブサイトを開催し、レースが多摩市を通り過ぎた後も富士スピードウェイのゴールまで競技中継を上映する準備を進めていました。

感染状況等を総合的に判断し、大人数が集まることが想定されるコミュニティライブサイトは中止することとしましたが、コース沿道での観戦の自粛をお願いするにあたり、市民が安心して選手たちに声援を送り、オリンピックの興奮と感動を安全に共有できる環境を実現するため、自転車競技ロードレースの競技中継の実施について組織委員会に強く要望し、インターネット中継がされることが実現しました。



多摩東公園交差点へ向かう車列  
自転車競技ロードレースでは、自転車だけでなく、チームカーなど多くの車やバイクが隊列を組んで走ります

	武蔵野の森公園 スタート	先頭選手通過時間 多摩東公園1回目	先頭選手通過時間 島田療育センター入口
7月24日(男子)	11:00	11:31	11:47
7月25日(女子)	13:00	13:33	13:50



多摩センター駅付近



## レース当日の感染防止の取組

組織委員会は、新型コロナウイルスの感染防止のため、自転車競技ロードレースの観戦を自粛することを要請していたことから、レース当日、沿道では組織委員会から派遣された専門のスタッフが拡声器及びプラカードで密にならないよう呼びかけたほか、コースサポーターが「フィジカル・ディスタンスの確保を」「集う・触れ合う応援は避ける」と記載されたビブスの着用の上、「コース沿道での観戦をご遠慮いただいております」と記載された呼びかけカードを提示し、観戦自粛への協力を求めました。市でも防災行政無線を利用して全市域にコース沿道での観戦自粛を呼びかけました。



密を避けるよう呼びかけるスタッフ



観戦自粛への協力を求めるコースサポーター

## ボランティアの活躍

### ■ テストイベントでのコースサポーターの活動

コース設営や観客誘導などの競技運営のサポートをしていただくボランティアとして、多摩市内のコース沿道で「コースサポーター」に活動をしていただきました。テストイベントでは市内6大学の学生の皆さんから100名、一般公募の方から178名、計278名の方にご協力をいただきました。



おそろいの水色のTシャツと組織委員会から支給された「READY STEADY TOKYO」のロゴの入った白いキャップを着用し、活動していただきました

### ■ テストイベントでの市内各団体の協力

#### ▶ 多摩市医師会(有志)による救護所設置

多摩センターパルテノン大通りにテント2張りを設置

#### ▶ 東京多摩グリーンロータリークラブによる「東京水」の配布と熱中症予防の声かけ

多摩センター駅周辺の観戦者に、東京都水道局より提供いただいたペットボトル「東京水」500本の配布及び熱中症予防の声かけ

#### ▶ 外国人おもてなし語学ボランティア育成講座修了者有志による多摩センター駅周辺の案内

多摩市国際交流センター(TIC)で実施している外国人おもてなし語学ボランティア育成講座修了者有志による多摩センター駅からコース沿道までの観戦者(来街者)の案内

#### ▶ 多摩市赤十字奉仕団

ひじり館付近及び豊ヶ丘5丁目付近のコース沿道の清掃活動

#### ▶ 青陵中学校

豊ヶ丘5丁目付近のコース沿道の清掃活動



## 東京2020大会でのコースサポーターの活動

東京2020大会では、テストイベントの反省から、コース沿道にコースサポーターをとりまとめ、組織委員会スタッフとの間を繋ぐ役割として、コースサポーターリーダーが新設され、多摩市では職員がその役割を果たしました。コースサポーターとリーダーを合わせ、298名の方に沿道で活動していただきました。

東京2020大会では組織委員会からコースサポーターに対し、緑色のTシャツと「TOKYO2020」のロゴの入った白いキャップが支給されました。多摩市だけでなく、沿道全自治体のコースサポーターが同じ緑色のユニフォームでともにレースを支えました。

7月24日、25日の両日とも晴れわたる青空のもと、暑い中、朝早くから多くの市民・市内の大学生の方々にコースの設営や沿道の誘導支援などを担っていただき、無事にレースを終えることができました。



コース沿道では、全国から応援に駆け付けた警察官や自衛隊員の皆さんとも協力して活動しました



本部の様子  
テストイベントの反省から、多摩センターパルテノン大通りに「本部」を設置し、沿道のコースサポーターリーダーと組織委員会との情報連携、沿道の状況把握を行いました



## 東京2020大会での市内団体の協力

### ▶外国人おもてなし語学ボランティア育成講座修了者有志による多摩センター駅周辺の案内

沿道での観戦は自粛となりましたが、コースの中でもアクセスが良い多摩センター駅周辺には観戦客が集まることが予想されたことから、沿道の密集の状況を見て、危険な状態が発生しないように人の流れを整理し、誘導する業務にご協力いただきました。



## 8市連携事業

東京2020オリンピック競技大会における自転車競技ロードレースのコース沿道自治体である東京都8自治体(府中市・調布市・三鷹市・小金井市・稲城市・多摩市・八王子市・町田市)は、自転車競技ロードレースへの興味・関心を高めるとともに、多摩地域全体のスポーツ振興及び観光振興を図ること目的とした取組を広域的に連携して実施するため、東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市合同連絡会を設置しました。

自転車競技ロードレースは、1896年近代オリンピック最初の大会であるアテネオリンピックから行われている歴史ある競技で、ヨーロッパを中心にとても人気のあるスポーツですが、日本ではまだ認知度が低く、メジャーなスポーツとは言えない状況です。このため、オリンピック本番ではより観戦を楽しんでもらうために、自転車ロードレースの魅力や楽しみ方を紹介し興味・関心を高めるさまざまな取組を行いました。

### ■ 自転車競技ロードレースPR動画制作 (2019.7月)

PR動画「Smile Road Project」を制作しました。自転車競技ロードレースの競技としての魅力や楽しみ方の紹介を交えつつ、各市のコースの見所も詰まった動画となっています。制作したPR動画は、YouTubeで公開



した他、モニター設置がある各市の公共施設や気運醸成イベント等で放映しました。

多摩郵便局の近くで撮影したラストシーンでは、たまロケーションサービスや職員及び職員の家族にエキストラとして協力していただきました。



### ■ 8市合同記者会見 (2019.7.11)

8市の市長が一堂に会し、記者会見を行いました。組織委員会スポーツ局競技運営部自転車競技スポーツマネージャーの片山右京氏にもお越しいただき、自転車競技の魅力をお話いただきました。その後、PR動画の完成披露上映、最後には、当日参加したコースサポーターの方々と一緒に写真撮影が行われました。



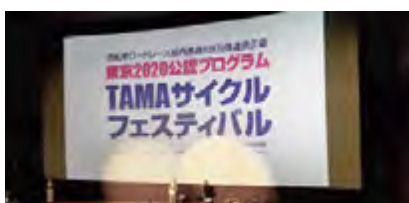
## TAMA サイクルフェスティバル開催〈2020.1.25〉

東京2020大会開催に向け、自転車競技の面白さを体感できるイベント「TAMA サイクルフェスティバル」を調布市で開催しました。シアタス調布会場では、8自治体合同で制作したPR動画の上映、Team UKYO所属の畑中勇介選手と武山晃輔選手によるアスリートトークショー、「劇場版弱虫ペダル」の上映などを行いました。調布駅前広場では、8市の他、東京都、三重県が自転車競技の体験や各自治体のPR等のブースを出展し、調布駅前広場のアスリートトークショーでは畑中選手・武山選手、ガールズケイリンの板根茜弥選手に出演していただきました。



また、公益財団法人JKAにご協力いただき、競輪のバーチャル体験ができるコンテンツを用意していただきました。子どもから大人まで多くの方が来場されました。

また、公益財団法人JKAにご協力いただき、競輪のバーチャル体験ができるコンテンツを用意していただきました。子どもから大人まで多くの方が来場されました。



## 電車内広告〈2020.7.1-31〉

東京2020大会は延期となりましたが、1年後にはオリンピック自転車競技ロードレースが開催されることを広く周知し、レース本番における道路交通規制等の影響を低減するとともに、新型コロナウイルス終息と人々の健康を願うメッセージを込めて、電車内広告を作成しました。コースの沿線を走る京王線(京王井の頭線を除く)、JR中央線快速(中央特快・青梅特快を除く)、JR南武線・鶴見線に掲出しました。

## 自転車競技ロードレース都内コース体験イベントを開催〈2021.6.21-7.18〉

東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内コースを自転車(ランニング・ウォーキングでの参加も可)で走り、コース各所に設けられたチェックポイントを回るスマートフォンアプリを利用したスタンプラリーを開催しました。感染拡大防止対策として、参加者がそれぞれ開催期間中の好きな時間に参加できる形態とし、密になることを回避しました。コースの認知度向上とともに、レース本番前にオリンピックでトップレーサーが走るコースを体験することで、大会へ向けた気運醸成を図りました。

延べ申込者数：616名 参加者数：252名

コース名	申込人数	完走人数	スタート済み・未完走者	未出走者
1 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース・都内制覇コース	209	79	8	122
2 セレモニアルスタートコース【調布市・三鷹市・小金井市・府中市エリア】	133	51	6	76
3 リアルスタートコース【府中市・稲城市エリア】	92	31	5	56
4 オネカン堪能コース【稲城市・多摩市エリア】	98	37	6	55
5 東京都ラストコース【多摩市・八王子市・町田市エリア】	84	26	3	55
合計	616	224	28	364

## コミュニティライブサイト

東京2020オリンピック自転車競技ロードレースはテレビ放映等の予定がなかったため、車列通過後も市民や自転車愛好家に競技を観戦していただくことを目的に、開催日である2021(令和3)年7月24・25日の両日、コース沿道に立地する多摩東公園で、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会コミュニティライブサイト in TAMA」を開催する準備を進めていました。



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会コミュニティライブサイト in TAMA 実施計画	
<b>イベント概要</b> (赤字が変更点)	<b>変更点</b> 1 コミュニティライブサイトを「事前申し込み制」での運営とする。 2 北駐車場に設置を予定していた「飲食ブース」の設置を中止する。 <b>= 会場エリアを武道館内のみで縮小</b>
開催日時	7月24日(土) 10:00~18:30 7月25日(日) 11:30~18:00
開催場所	多摩市立多摩東公園(多摩市立武道館・北駐車場)
入場定員	730人程度(武道館内630人程度・北駐車場100人程度) →600人/日(事前申し込み制、申込者多数の場合は抽選)
想定来場者数	24日 約1,900人 → 600人 25日 約1,400人 → 600人 (期間計 約3,300人 → 1,200人)
実施コンテンツ	・競技中継 : 自転車競技ロードレースの競技中継を実施 ・会場装飾 : コミュニティライブサイトロゴデザインを活用し、オリンピック・パラリンピックの祝祭感を盛り上げていく ・ステージイベント : 地元のアーティストや市内の小学生のステージパフォーマンス披露 ・主催者展示 : 多摩市の施策に関する紹介パネルの展示 <b>中止 - 飲食売店 -</b> : 市内事業者や地元の障がい者団体等による出店を予定
※ 事前予約制について	6月 20日 たま広報等で告知、受付開始 7月 5日 受付終了 7月 6~8日 抽選、決裁 7月 12日 抽選結果発送
※ その他	情勢により、申し込み開始後であっても定員を調整したり、イベント自体を中止する可能性あり

武道館内で競技中継とその実況解説を行い、北駐車場に休憩スペースを設けて食品販売等を実施する計画でした。

組織委員会より、簡素化の方針や感染対策の指示、さらに追加のガイドラインが示されたことから、会場規模の縮小、会場内での食事や飲酒の禁止、事前申込制とするなど、大幅な見直しを図りながら準備を進めましたが、6月19日、東京都主催のすべてのライブサイト、パブリックビューイングの中止の決定を受け6月24日、多摩市としても、感染の状況や市民の不安などを総合的に勘案した結果、開催は困難であると判断し、中止を決定しました。

## 5市連携事業

### 自転車競技ロードレースの観戦情報誌「TAMA AREA ROAD RACE EXPRESS」を作成

東京2020オリンピック自転車競技ロードレースの沿道でコミュニティライブサイトを開催する5市(府中市・稲城市・多摩市・八王子市・町田市)で、東京2020オリンピック自転車競技ロードレースを、市民の皆さんに楽しく、分かりやすく観戦していただくため、観戦情報誌「TAMA AREA ROAD RACE EXPRESS」を作成しました。情報誌には日本代表選手のインタビューや都内におけるコースの見どころなど、読み応えのある記事をぎゅっと詰めこみました。

コミュニティライブサイトで競技中継を解説付きで観戦する際に、来場者の皆さんに手に取っていただくことを想定して作成しましたが、感染状況等を総合的に判断し、多摩市のコミュニティライブサイトは中止となり、また、感染拡大防止の観点から、コース沿道での観戦は自粛をお願いすることとなったため、情報誌は市内公共施設等で配布したほか、市内小中学校を通じて子どもたちに配布しました。

